情報システム研修会

メーカー・卸間次世代標準EDI推進協議会

～ 活動報告 ～

2026年10月23日

一般社団法人 日本加工食品卸協会

目 次

I.　検討背景と目的

II.　メーカー・卸間検討体制と進め方

III. 活動概況

Copyright © 2026 Japan Processed Foods Wholesalers Association　All Rights Reserved.

Ⅰ．検討背景と目的

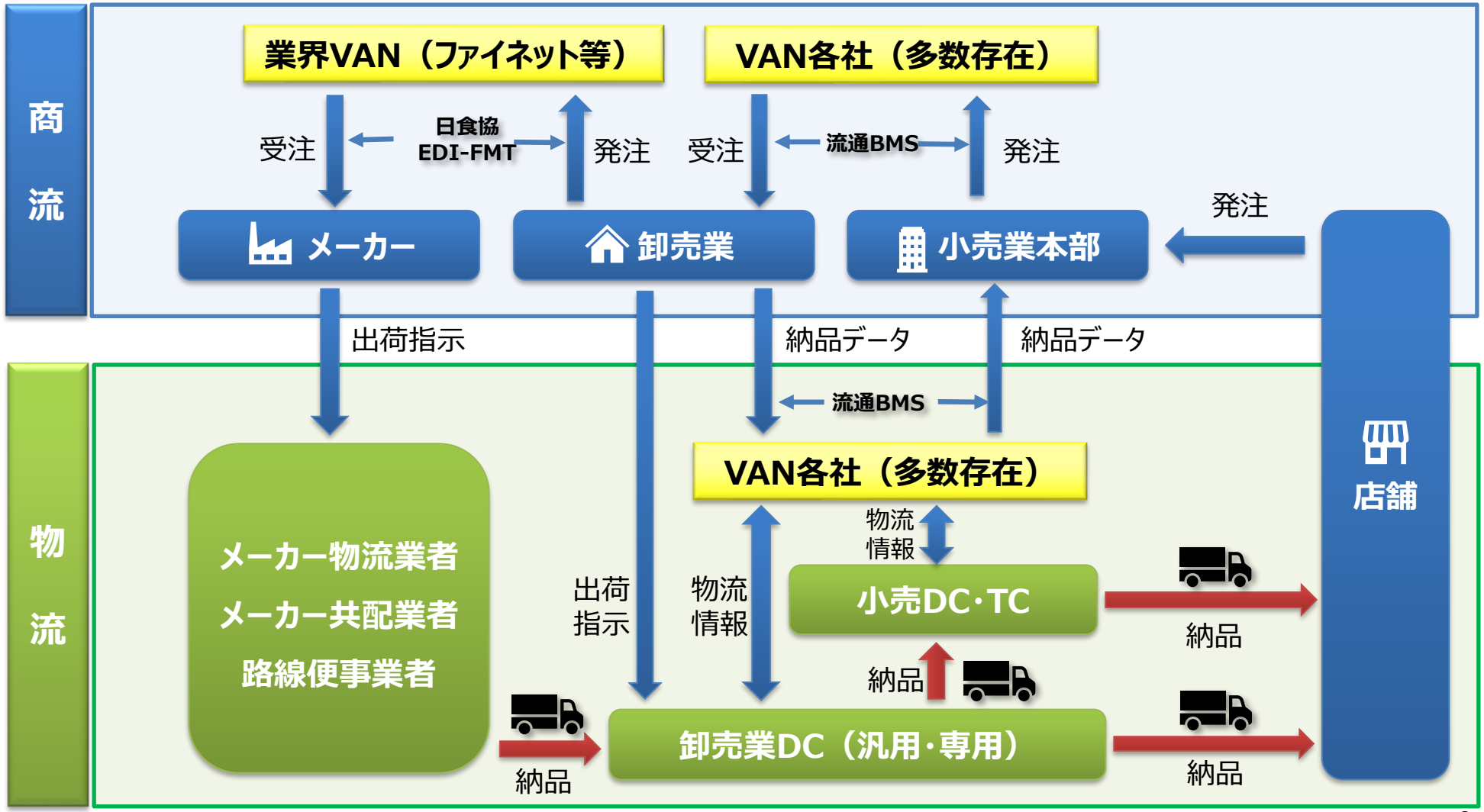
Copyright © 2026 Japan Processed Foods Wholesalers Association All Rights Reserved.

1. 加工食品流通業界の情報流の現状

現状と課題

卸・メーカー間 ：①商流－業界VANにより、標準化が進んでいる。多数を占める中小メーカーと卸間での効率化が課題。
：②物流－情報は紙媒体（納品伝票）のやり取りが今だに主流。電子的に情報が繋がっていない。

小売・卸間 ：①商流－VAN事業者が多数存在し、卸側に負担が大きい。流通BMSも中小小売への普及が遅延。
：②物流－納品情報は既にデータによりやり取りがされ、その信頼性に基づいた検品レスが実施されている。



Copyright © 2026 Japan Processed Foods Wholesalers Association All Rights Reserved.

2. 目的と課題･あるべき姿

【 目的 】

現状の加工食品流通業界の情報流と日食協標準EDIフォーマットの課題等を踏まえ、2025年3月に組成した「メーカー・卸間次世代標準EDI推進協議会」にて、加工食品サプライチェーンにおけるメーカー・卸間の次世代の標準EDIを策定し、先ずは、「持続可能な物流の構築」に関する　導入が急がれる事前出荷情報（ASN）等を検討･計画･実施する（伝票･検品レス含む）。

【 課題･あるべき姿 】

日食協標準EDIフォーマット

課　題					
技術的老朽化 (制定から38年経過)	新データ種 フォーマットの 要望	現行運用と 仕様書の 老朽化	未利用等 フォーマット の対応	ASNの利活用 （物流問題）	業際間の標準化 (加工食品･菓子等)

あるべき姿

メーカー･卸間
BMS
(Business Message Standards)

今後は、日食協フォーマットをバージョンアップせず、

新たにメーカー･卸間BMSを構築し

BMSを製･配･販3層の標準化EDIとする

※ 小売⇔メーカー･卸間のEDIは、流通BMSとして利活用が進んでいる。

Copyright © 2026 Japan Processed Foods Wholesalers Association All Rights Reserved.

Ⅱ．メーカー・卸間検討体制と進め方

Copyright © 2026 Japan Processed Foods Wholesalers Association All Rights Reserved.

1. 協議会の体制

（2026年10月現在）

【体制】 2025年3月組成
・全体会 計3回開催
・幹事会 計10回開催

メーカー・卸間次世代標準EDI推進協議会

※略称：次世代EDI協議会

事務局
一般社団法人
日本加工食品卸協会

全体会

幹事会

- **全体会：検討結果を共有する会**
- **幹事会：協議会における議論の会**
  BMSメッセージ、ガイドライン策定
- **分科会：EDIの前提となる業務運用等を検討する会**

①ASN運用検討分科会	②業務運用検討分科会	③標準利用コード検討分科会	④VAN機能検討分科会
ASN等に関する運用検討	受領、返品、請求・支払、出荷案内等の業務運用検討	標準利用コード体系に関する検討	VAN機能に関する検討

（五十音順）

全体会（メーカー29社、卸9社、VAN関連事業者4社/1団体、オブザーバー1団体）

幹事会

メーカー（11社）
- アサヒビール㈱
- 味の素㈱
- カルビー㈱
- 菊正宗酒造㈱
- キユーピー㈱
- キリングループロジスティクス㈱
- サントリーホールディングス㈱
- 日清食品ホールディングス㈱
- ㈱ニップン
- ハウス食品㈱
- 明治ホールディングス㈱

卸（9社）
- 伊藤忠食品㈱
- 加藤産業㈱
- 国分グループ本社㈱
- ㈱高山
- ㈱日本アクセス
- 日本酒類販売㈱
- 三井物産流通グループ㈱
- 三菱食品㈱
- ㈱山星屋

VAN関連事業者（4社、1団体）
- ㈱サイバーリンクス
- ㈱ファイネット
- 富士通㈱
- e-お菓子ねっと
- TISI㈱

オブザーバー（1団体）
- GS1 Japan

メーカー（18社）
- 大塚食品㈱
- カゴメ㈱
- ㈱加藤美蜂園
- カルピス㈱
- クラシエ㈱
- 月桂冠㈱
- サッポロビール㈱
- 田中食品㈱
- テーブルマーク㈱
- 日清オイリオグループ㈱
- ㈱日清製粉ウェルナ
- ネスレ日本㈱
- ハナマルキ㈱
- ヒガシマル醤油㈱
- ㈱明治屋
- ヤマキ㈱
- 理研ビタミン㈱
- Umios㈱

Copyright © 2026 Japan Processed Foods Wholesalers Association All Rights Reserved.

2. 分科会

1. ASN運用検討分科会

- 日食協より提示した「事前出荷情報（ASN）の運用指針」に対し、幹事会にて挙がったASN業務運用等に関する意見に対し、各社物流担当者等を中心に課題検討を行い、運用指針を作成。
- 業務運用検討分科会の検討を受け、**物流（事実）の受領・返品運用の検討**。
  また、**分納、再発注、再配達等に関する運用の検討。**

【 **参加企業**（計19社） 】　（敬称略）

- メーカー　：アサヒビール、味の素、カルビー、キユーピー、キリングループロジスティクス、サントリーホールディングス、ニップン、ハウス食品
- 卸　：旭食品、伊藤忠食品、加藤産業、国分グループ本社、トーカン、日本アクセス、日本酒類販売、三井物産流通グループ、三菱食品、ヤマエ久野
- VAN関連事業者：富士通

2. 業務運用検討分科会

- 先ずは受領を中心に返品、請求・支払、出荷案内等の業務運用を検討。
- 今後は、**商流（金額）に関する請求・支払（返品・出荷案内含む）に関する業務運用の検討**。

【 **参加企業**（計19社） 】　（敬称略）

- メーカー　：アサヒビール、味の素、菊正宗酒造、カルビー、キユーピー、キリングループロジスティクス、サントリーホールディングス、ハウス食品
- 卸　：伊藤忠食品、加藤産業、国分グループ本社、国分ビジネスエキスパート、日本アクセス、日本酒類販売、三井物産流通グループ、三菱食品、山星屋
- VAN関連事業者：サイバーリンクス、富士通

Copyright © 2026 Japan Processed Foods Wholesalers Association All Rights Reserved.

2. 分科会

3. 標準利用コード検討分科会

- 製・配・販連携協議会の商流・物流におけるコード体系標準化WGや経産省の商品情報連携会議等の内容を踏まえ、**取引先・商品コード等の標準利用コード体系に関する検討**。

【 **参加企業**（計14社） 】　（敬称略）

- メーカー　：アサヒグループジャパン、カルビー、キユーピー、キリングループロジスティクス
- 卸　：伊藤忠食品、加藤産業、国分グループ本社、高山、日本アクセス、日本酒類販売、三井物産流通グループ、三菱食品、山星屋
- VAN関連事業者：富士通

4. VAN機能検討分科会

- VAN機能について、VAN関連事業者等と検討。
- なお、VAN機能等を検討するうえで、今後当事者となるVAN事業者やVAN関連事業者で忌憚のない協議を通じて、**公共物として最適なVANの方向性を出して、社会実装する。**

【 **参加企業**（計15社、1団体） 】　（敬称略）

- メーカー　：菊正宗酒造、キユーピー、キリングループロジスティクス、明治ホールディング
- 卸　：伊藤忠食品、加藤産業、国分グループ本社、日本アクセス、日本酒類販売、三井物産流通グループ、三菱食品
- VAN関連事業者：ファイネット、富士通、サイバーリンクス、TISI、e-お菓ねっと

Copyright © 2026 Japan Processed Foods Wholesalers Association All Rights Reserved.

3. 進め方

1-1. BMSメッセージの作成検討

Step 1 （本年度継続）

物流（受発注～事前出荷情報（ASN）の高度化）

卸・小売間に比べ遅れている卸・メーカー間の事前出荷（ASN）に関する物流の高度化を図る

以下、既存流通BMSメッセージを参考に各業界VANフォーマットを含めて検討を行う。

- **受発注、受注回答、ASNのBMSメッセージ作成**
  受発注(見直し)、受注回答(新規)、ASN(見直し)
- **VAN機能の検討**
  次世代EDIを実現するうえで、実装すべくVAN機能を検討する。

Step 2 （本年度一部着手）

受領、返品、請求・支払のデータ化と出荷案内の見直し

- **他業界では実現している受領、返品・返品受領のデータ化を行う**
- **請求・支払のEDI化を推し進め、効率化と高度化を図る**

以下、業務運用を検討し、既存流通BMSメッセージを参考に各業界VANフォーマットを含め検討を行う。

- **受領～請求・支払の業務運用検討**
  受領～請求・支払（出荷案内含む）までの業務運用を検討すると共に、メーカー・卸間での出荷案内運用等に差異があるのを是正する。
- **受領～請求・支払のBMSメッセージ作成**
  - 物流　　：受領（新規）、返品・返品受領(新規)、出荷案内（見直し）
  - 債権債務：請求（（出荷案内）見直し→新規）、支払（新規）

Copyright © 2026 Japan Processed Foods Wholesalers Association All Rights Reserved.

3. 進め方

Step3

残りの既存日食協フォーマットからBMSメッセージへの集約

残りの既存日食協フォーマットからBMSメッセージへの集約を推し進め、効率化と高度化を図る

日食協FMTと各業界VANフォーマットを参考にBMSメッセージを検討する。
また、運用を検討する。

- **残りの既存フォーマット（在庫、販売実績、販促金、その他）をBMSメッセージに集約し、標準化を図る**

1-2. 運用指針の確認・検討

① 受発注～ASNに関し、「事前出荷情報（ASN）の運用指針」を作成（4月完了）
② 受領（返品等含む）～請求・支払の運用は、別途検討し運用指針として纏める
③ 次世代標準EDIのBMSメッセージの内容と運用等は、「ガイドライン」として纏める

【 目標 】

2027年度中に関東・関西圏の小売専用センターにASNを実装し、
より多くのメーカーにご参画頂けるよう準備する。

Copyright © 2026 Japan Processed Foods Wholesalers Association All Rights Reserved.

4. スケジュール

現在

検討項目	2026年										2027年		
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
次世代EDI協議会	幹事会 3/25	全体会 4/22	幹事会 5/26		幹事会 7/29		幹事会 9/30		幹事会 11/25		幹事会 1/27		幹事会 3/24
Step1：発注～受注回答～事前出荷メッセージ作成検討													
1. 2025年度実証実験評価													
2. VAN機能検討													
3. 標準利用コード体系													
4. ASN運用検討													
Step2：受領～請求・支払の業務運用検討													
5. 業務運用検討													

Copyright © 2026 Japan Processed Foods Wholesalers Association All Rights Reserved.

Ⅲ．活動概況

Copyright © 2026 Japan Processed Foods Wholesalers Association All Rights Reserved.

1. 昨年度までの活動と確定事項

No.	活動と検討事項	状況
1	**説明会開催～協議会発足**	●2024年12月に日食協にて以下テーマのメーカー向け説明会を開催。 同じ内容にて2回説明会を開催し、メーカー76社169名に参加頂く。 ・「メーカー・卸間の次世代標準EDI」について ・「事前出荷情報（ASN）の運用」について ●説明会開催後、2025年3月に次世代標準EDI推進協議会が発足し、メーカーと卸、VAN会社における次世代EDIの検討を開始。
2	**協議会活動**	以下、10月末（予定含む）現時点の開催状況 ●全体会3回、幹事会10回を開催。 ●システム化の前提となる業務運用を具現化するため4つの分科会を設置。 ①ASN運用検討分科会　：計2回開催 ②業務運用検討分科会　：計2回開催 ③標準利用コード検討分科会：計1回開催 ④VAN機能検討分科会　：計3回開催
3	**考え方・方針について**	● 現状の課題・要望等の認識・目線合わせをし、以下の考え方・方針を確認・検討を実施。 ● **流通BMSの基本版（小売）、百貨店版に新たにメーカー・卸版BMSを作成することで合意。** ● 次世代EDI検討方針、BMS検討方針、業際規格検討方針、システム定義資料、項目定義方法、検討対象データ種、既存項目定義方針、新設項目定義方針の確認と**メッセージ案作成**。 **①受発注メッセージ ②受注回答メッセージ** **③事前出荷情報（ASN）メッセージ**
4	**BMSにする意義の明確化と新EDIメッセージの作成**	

Copyright © 2026 Japan Processed Foods Wholesalers Association All Rights Reserved.

1. 昨年度までの活動と確定事項

No.	活動と検討事項	状況
5	**小売専用センター・卸外部倉庫（汎用以外）とのASN関連データ送受信形態**	● メーカー・物流業者⇔業界VAN⇔卸間及び小売専用センター間やSIP基盤（納品伝票エコシステム）を利用したデータ送受信形態を検討。 ● **SIP基盤は、メーカー・卸・小売共に必要に応じて、各社の判断のもと相対で対応するものとする。** ● **業界VAN連携は、VAN事業者に業界FMT⇔次世代EDI-FMT変換機能を実装頂く予定。**
6	**ASN業務プロセスの確認・検討**	● 幹事会にて挙がったASN業務運用等の課題について、ASN業務運用分科会にて検討。 ● **「事前出荷情報（ASN）の運用指針」の取り纏め →3月末取り纏め完了。**
7	**技術基盤の確認・検討**	●次世代EDIにて定義する受発注、受注回答、事前出荷の各メッセージで使用される項目及びデータ連携時のデータ形式や通信手順の検討を実施。 **・メッセージ項目：3メッセージで使用する163項目を定義（案）** **・データ形式　：XML形式にて合意** **・通信手段　：ebXML、JX等にて合意**
8	**実証実験**	●2～3月システム構築前に**各メーッセージ項目等に問題が無いかをCSVデータによる机上実証実験を実施**し、課題を抽出。
9	**ガイドライン**	●3メッセージについて、日食協EDI-WGにてDRAFTを作成し、幹事会にて意見を求めた。

Copyright © 2026 Japan Processed Foods Wholesalers Association All Rights Reserved.

2. 本年度の幹事会・各分科会タスク

No.	タスク	幹事会		ASN運用検討分科会	業務運用検討分科会	標準利用CD検討分科会	VAN機能検討分科会
			実証実験				
Step1：発注～受注回答～事前出荷メッセージ作成検討							
1	2025年度実証実験の評価（課題やタスク整理）	○	●				●
2	現規格⇔次世代EDIメッセージ変換見直し	○	●				●
3	メッセージ項目一覧見直し	○	●				●
4	メッセージ別項目定義見直し（タイプ、桁数、コードリスト設定等含）	○	●				●
5	メッセージ別構造定義検討	○	●				●
6	現規格⇔次世代EDI項目マッピング仕様・バリデーションチェック検討	○	●				●
7	標準利用コード検討（企業、商品）	○				●	
8	メッセージ項目一覧「項目の意味」整理	○					●
9	ガイドライン第3章「メッセージ項目解説とセット方法」検討	○					●
10	メッセージ別項目定義「必須・任意」検討	○					●
11	XMLスキーマ策定	○					●
12	BMS保守運用体制検討	○					●
13	WebEDI機能詳細検討	○					●
14	ASN業務運用検討	○		●			
15	ガイドライン第2章「業務プロセスモデル」検討	○					●
16	ガイドライン第4章「メッセージ送受信運用方法」検討	○					●
Step2：受領、返品、請求・支払のデータ化と出荷案内の見直し							
17	受領・返品（現物）の運用検討			●			
18	請求・支払の運用検討（返品（金額）・出荷案内含む）				●		

Copyright © 2026 Japan Processed Foods Wholesalers Association All Rights Reserved.

3. 本年度の活動

No.	活動と検討事項	状況
1	**事前出荷情報（ASN）の運用指針**	● ASN運用に関し、**ASN運用検討分科会にて「事前出荷情報（ASN）の運用指針」を取り纏め**、幹事会・全体会にて承認。 ● 4月日食協HPにて、「事前出荷情報（ASN）の運用指針」（初版）を公開。 https://nsk.c.ooco.jp/pdf/20260428_1v2.pdf 事前出荷情報（ASN）の運用指針 初版 2026年4月 メーカー・卸間次世代標準EDI推進協議会 （事務局：一般社団法人 日本加工食品卸協会）

Copyright © 2026 Japan Processed Foods Wholesalers Association All Rights Reserved.

3. 本年度の活動

No.	活動と検討事項	状況
2	**受領、返品、出荷案内、請求、支払運用の検討**	● 物流パターンと各データにおける、未検討の運用について検討する。 ● **物流（現物）に関する受領・返品は、「ASN運用検討分科会」にて検討**。また、**商流（金額）に関する請求・支払（返品・出荷案内含む）は、「業務運用検討分科会」にて検討**。 ● 運用指針として纏める予定。　※進め方Step2の内容

パターン	発注	受注回答	事前出荷	出荷案内（直送）	受領	請求	支払
	卸送信	メーカー送信	メーカー送信	メーカー送信	卸送信	メーカー送信	卸送信
① 卸汎用倉入 DC在庫 パターン（外部倉庫含む）	検討済み ○	○	○	未検討	○	○	○
② 小売専用倉入 DC在庫 パターン	○	○	○		○	○	○
③ 倉入 TC通過 パターン	○	○			○	○	○
④ 店舗直送 パターン	○	○		○	○	○	○
	ASN運用検討分科会			業務運用検討分科会	ASN運用検討分科会	業務運用検討分科会	

Copyright © 2026 Japan Processed Foods Wholesalers Association All Rights Reserved.

3. 本年度の活動

システム検討テーマ

No.	タスク	幹事会	#7 3/25		#8 5/26		#9 7/29		#10 9/30		#11 11/25		#12 1/27		#13 3/24
		VAN分科会				#1 6/30	#2 7/24		#3 9/24	#4 10/27	#5 11/20	#6 12/23			
Step1：発注～受注回答～事前出荷メッセージ作成検討		**STS**													
1	2025年度実証実験の評価（課題やタスク整理）	対応済													
2	現規格⇔次世代EDIメッセージ変換見直し	対応済													
3	メッセージ項目一覧見直し	対応済													
4	メッセージ別項目定義見直し	対応済													
5	メッセージ別構造定義検討	対応済													
6	現規格⇔次世代EDI項目マッピング仕様・バリデーションチェック検討	-													
	1. 現規格⇔次世代EDIにおける対比項目の再整理	対応済													
	2. N：1対比時のマッピング（優先ルール）	対応済													
	3. XMLデータ型＝Code（コードリスト）におけるマッピングルール	対応済													
	4. 桁数が異なるケースのマッピングルール（XMLデータ型ごとの検討）	対応済													
	5. 現規格がXMLデータ型に合致しない場合のマッピングルール	対応済													
	6. 同一XMLデータ型においてタイプが異なる場合のマッピングルール	対応済													
	7. 全角文字マッピング時のバイト数（3byte⇔2byte）ルール	検討中													
	8. SBDH該当項目データ設定ルール	検討中													
	9. 次世代EDIバリデーションチェック仕様整理	検討中													
8	メッセージ項目一覧「項目の意味」整理	対応済													
9	ガイドライン第3章「メッセージ項目解説とセット方法」検討	検討中													
10	メッセージ別項目定義「必須・任意」検討	検討中													
11	XMLスキーマ策定	検討中													
12	BMS保守運用体制検討	検討中													
13	WebEDI機能詳細検討	未実施													
15	ガイドライン第2章「業務プロセスモデル」検討	対応済													
16	ガイドライン第4章「メッセージ送受信運用方法」検討	検討中													

Copyright © 2026 Japan Processed Foods Wholesalers Association All Rights Reserved.

3. 本年度の活動

No.	活動と検討事項	状況
3	**システム検討**	以下をVAN機能検討分科会にて検討中（進め方Step1の内容） ● メッセージ別構造定義 ● ガイドライン ● 企業識別標準利用項目（次店コード） ● 全角文字マッピング時のバイト数 ● SBDH該当項目データ設定ルール ● バリデーションチェック仕様整理 ● メッセージ別項目定義（必須・任意） ● XMLスキーマ策定
4	**資料整理・作成**	以下の資料を整理・作成中。 ● 【メーカー・卸間BMS】メッセージ別定義一覧表 ● 【メーカー・卸間BMS】メッセージ項目一覧 ● 【メーカー・卸間BMS】メッセージ構造定義 ● 【メーカー・卸間BMS】ガイドライン
5	**BMS運用体制**	● 事務局にて素案を作成し、その後幹事会にて審議予定。

Copyright © 2026 Japan Processed Foods Wholesalers Association All Rights Reserved.

一般社団法人 日本加工食品卸協会

〒103-0023
東京都中央区日本橋本町2-3-4 江戸ビル4階
電　話　03-3241-6568
ＦＡＸ　03-3241-1469
ＵＲＬ　http://nsk.c.ooco.jp/